

新潟県立がんセンター新潟病院 地域医療連携だより

NEWSLETTER



2021 年秋号



新型コロナウイルス感染症 拡大防止のためのお願い

当院では、院内感染を防止するために、以下の対策を行っております。来院される皆様（患者さん、ご家族、関係機関の方）のご理解とご協力をお願いいたします。

○入院患者さんとの面会は原則お断りさせていただきます。

○2週間以内に新潟県外から来られた方、県外滞在歴のある方との接触はご遠慮ください。

○2週間以内に発熱（37.5℃以上）及び風邪の症状がある方は来院前に外来にお電話をください。

○発熱・呼吸器症状などの有無を確認させていただきます。

○必ずマスクを着用してください。

—Contents—

- ◆がんゲノム外来開設のお知らせ
- ◆部門紹介 《薬剤部》《中央放射線部》
- ◆患者サポートセンターからのお知らせ
 - ・就労・両立支援について
 - ・在宅医療研修会
 - ・看護サマリーについて
- ◆令和3年11月外来診療予定表



がんゲノム外来開設のお知らせ

がんゲノム医療センター長 中川 悟

がん患者さん一人一人に最適な医療を提供する「がんゲノム医療」が臨床現場に導入され、2年経過いたしました。当院は2018年10月に「がんゲノム医療連携病院」の指定を受け、2019年4月に「がんゲノム医療センター」を設立し、2020年3月からがん遺伝子パネル検査を開始しております。同年7月には小児がん領域においても検査が行えるようになり、「がんゲノム医療拠点病院」（以下拠点病院）である「新潟大学医歯学総合病院」及び小児がん領域の「国立成育医療研究センター」と連携して、「がんゲノム医療」を推進しております。開始当初は当院かかりつけの患者さんを対象に検査を行っていましたが、2021年9月よりがん遺伝子パネル検査を希望される患者さんを広く受け入れるために「がんゲノム外来」を開設いたしました。

がんの原因が遺伝子の変化であることが明らかとなり、その変化を調べ、がんの特徴を知るための検査（がん遺伝子パネル検査）が開発され、2019年6月に保険診療として認められました。この検査を用いがん細胞のゲノムを調べ、どの遺伝子に変化があり、どのような性質のがんなのか、またそのがんにはどのような治療法が適しているかを選択するのが、「がんゲノム医療」です（図1）。

同じ臓器のがん（例えば肺がんなど）でも治療法の効果は個々の患者さんで様々でした。これはがん



表1 がん遺伝子パネル検査（がん遺伝子プロファイリング検査）

	OncoGuide™ NCCオンコパネル	FoundationOne® CDx がんゲノムプロファイル	FoundationOne® Liquid CDx がんゲノムプロファイル
遺伝子数	124	324	324
対象検体	腫瘍組織 + 血液	腫瘍組織	血液
生殖細胞系列	区別する	区別しない	区別しない
遺伝子多型	除外する	除外できないものがある	除外できないものがある
コンパニオン診断	なし	対象あり	対象あり
TMBの測定	検出する	検出する	検出する
MSI	検出する	検出する	検出する

腫瘍における遺伝子変異（体細胞変異）を検出して治療に結び付けるのが主目的

遺伝性腫瘍につながる遺伝子も解析対象

報告されるすべてのバリエーションが病的であるとは限らない（バリエーションの再評価が必要）

正常組織も用いた解析で生殖細胞系列バリエーションの解析結果を区別して報告（NCCオンコパネル）

腫瘍組織のみを用いた解析で生殖細胞系列バリエーションと体細胞変異を区別せず報告（FoundationOne® CDx）

の原因となる遺伝子の変化が患者さん一人一人で異なることにより生じているものと考えられます。

「がんゲノム医療」では、原因となる遺伝子の変化を同定し、それを標的とした薬剤を用いることにより最良の効果を提供する医療を目指しております。がん遺伝子パネル検査では、がん患者さんのがん組織や血液を用いて検査を行います。現在保険診療として認められている検査としては、腫瘍組織を検体として用いる「OncoGuide™ NCC オンコパネル」と「FoundationOne®CDx がんゲノムプロファイル」、また、血液のみを検体とする「FoundationOne® Liquid CDx がんゲノムプロファイル」があります(表1)。

どの検査を選択するかは、患者さんの臨床情報をもとに主治医と相談の上決定いたします。対象となる患者さんは、①原発不明がんや希少がんなどの標準治療がない固形がん、または、②局所進行あるいは転移が認められ標準治療が終了(見込み含む)した固形がんの患者さんで、全身状態や臓器機能等から検査実施後に化学療法の適応となる可能性が高いと考えられる方になります(表2)。

表2 【がん遺伝子パネル検査の対象患者】

- ・ 原発不明がんや希少がんなどの標準治療がない固形がん
 - ・ 局所進行あるいは転移が認められ標準治療が終了(見込み含む)した固形がん
- *全身状態や臓器機能等から検査実施後に化学療法の適応となる可能性が高いと考えられる方

がん遺伝子パネル検査の結果は拠点病院で開催される「エキスパートパネル」(以下 EP) と呼ばれる専門家の集まりで検討し、EP で話し合われた結果を参考にして、治療法を提案いたします。2019 年 9 月 1 日～2020 年 8 月 31 日の期間に全国で実施されたがん遺伝子パネル検査は 7467 名であり、EP で提示された治療薬が投与された患者数は 607 名(8.1%)でした。2021 年 7 月までに当院で 52 名の患者さんに検査を行い、3 名(5.8%)の方(保険適応薬剤にて治療 1 名、治験参加 2 名)が治療に結びついております。今後は EP で提示された最適の治療法が多くの患者さんに投与できるようになってくれるものと期待しております。

また、がんになりやすい体質(遺伝性腫瘍)が判明することがあります。この体質の結果に関しては、知る権利と知らないでいる権利にもとづき、患者さんの希望を尊重し、担当医が意思を伺います。詳しい説明を希望する場合は、遺伝の専門家による遺伝カウンセリングを受けることもできます。

「がんゲノム外来」は毎週金曜日午後 2 時に予約を受け入れております。患者さんのご都合により時間の変更にも対応いたします。詳細は、当院のホームページ「がんゲノム医療センター」の「がんゲノム外来」に記載しております。“受診の流れ”の記述に沿って、患者サポートセンターにて予約をお願いいたします。必要書類は、ホームページよりダウンロードしてご使用下さい。不明な点などは、患者サポートセンター・がんゲノム外来までお問い合わせ下さい。がんゲノム医療を希望される患者様のご紹介をお待ちしております。



部門紹介

今号よりシリーズで部門紹介を行います

薬剤部

薬剤部が目指すのは安全で質の高い薬物療法への貢献です。患者さんに寄り添い、副作用の早期発見、早期対応に努め治療完遂できるよう、医師、看護師等の他職種とともにチームで対応しています。がん領域のみでなく、広く疾患に対する知識とコミュニケーションスキルが求められています。

日常業務とともにリスクマネジメント部会（誤薬WG、化療WG、転倒・転落WG）、化療運営会議、レジメン委員会、感染対策委員会（ICT、AST）、NST運営委員会、緩和ケアチーム、免疫療法サポートチーム、栄養サポートチーム等の活動を通じて薬物療法の安全性と質の向上に努めています。



多様化するがん薬物療法に多職種のチームで取り組む

がん薬物療法は殺細胞性抗がん薬の時代から、分子標的薬、さらに免疫チェックポイント阻害薬（ICI）が登場し近年急速に多様化しています。それに伴い有害事象も複雑化しています。ICIは従来の抗がん薬に比べて長期的に治療効果が持続する一方、免疫関連有害事象（irAE）とよばれる副作用への対応が必要になることが知られています。

当院はirAEに対して早くから複数診療科の医師、薬剤師や看護師などの多職種での連携チーム「新潟がんセンター免疫サポートチーム（Team iSINC）」を発足させ、患者さんもスタッフも安心して治療ができる環境作りを目指してきました。必要な時に必要なスタッフが連携して動ける柔軟な体制で、高度な有害事象対策ができるように運用されています。

がん薬物治療を最大限続けることができるかどうかは、有害事象マネジメントが有効に機能するかにかかっています。薬剤師には薬学的専門性と同時に、最新かつ良質な情報やエビデンスを整理・発信できるスキルが求められます。特に複雑化した有害事象を的確にマネジメントするのに欠かせないのはジェネラリストの資質です。有害事象の各々に対する対処法を知っておくことはもちろん必要ですが、その背景で患者さんの体内でどのような現象が起こっているのかを考えるジェネラリストの視点が必要であるため、そのような資質を持った人材を継続的に育成していきます。また地域の医療機関との連携にも努めて参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

薬剤部概要（2020年度）	
薬剤師	23名（うち臨時薬剤師1名、パート薬剤師2名）
看護師	4名（臨床試験支援室）
事務職員	4名（臨時1名、パート3名）
入院処方箋枚数	5,320枚/月
外来院内処方箋枚数	548枚/月
外来院外処方箋枚数	5,275枚/月
院外処方箋発行率	90.6%
薬剤管理指導算定件数	1,197件/月
病棟薬剤業務実施加算	算定中
入院注射処方箋枚数	6,840枚/月
無菌製剤処理料算定件数	1,742件/月

認定薬剤師等（2020年度）

<日本医療薬学会>がん専門薬剤師：4名、がん指導薬剤師：1名、医療薬学専門薬剤師：1名、医療薬

学指導薬剤師：1名 <日本病院薬剤師会>がん薬物療法認定薬剤師：2名、感染制御認定薬剤師：1名、認定指導薬剤師：1名、病院薬学認定薬剤師：6名 <日本緩和医療薬学会>緩和薬物療法認定薬剤師：2名、麻薬教育認定薬剤師：1名 <日本臨床栄養代謝学会>栄養サポートチーム専門療法士：2名 <日本糖尿病療養指導士認定機構>糖尿病療養指導士：5名 <日本薬剤師研修センター>認定実務実習指導薬剤師：5名、研修認定薬剤師：2名、小児薬物療法認定薬剤師：1名、漢方薬・生薬認定薬剤師：1名 <日本医療情報学会>医療情報技師：1名

文責：薬剤部長 木村宏之



中央放射線部

中央放射線部は放射線診断科の撮影を行う検査部門と、放射線治療科の治療部門から構成され、放射線技師 30 名、医学物理士 2 名、受付事務 6 名で業務を担っています。放射線部門システム（R I S）、治療 R I S の導入により、業務の効率化と正確な検査・治療を行うとともに、専門資格を持った診療放射線技師が検査・治療に対応し、より安全で高度な医療の提供に努めています。また、2019 年からは被ばく線量管理システムの導入により、被ばく線量の管理・記録を行い、より一層の被ばく線量の低減を行っています。

中央放射線部では、当院が都道府県がん拠点病院であることから、多くの高度医療機器を導入し、検査・治療を強化することで、がん医療の充実を図っています。



認定・資格	人数
第 1 種放射線取扱主任者	3
放射線治療専門放射線技師	3
放射線治療品質管理士	1
医学物理士	2
検診マンモグラフィ撮影認定技師	13
X 線 CT 認定技師	4
画像等手術支援認定放射線技師	3
磁気共鳴専門技術者	1
核医学専門技師	1
医療情報技師	1
医用画像情報専門技師	1

R 2 年度	CT	MRI	PET-CT	全放射線治療	I M R T
実施件数	22819	4980	1915	923	63

R 2 年度	CT	MRI	PET-CT	放射線治療科
地域連携紹介件数	60	10	324	90

【検査部門】

一般撮影は 2018 年より順次 C R（コンピューテッドラジオグラフィ）から F P D（フラットパネルディテクタ）への移行を進め、高画質、低被ばくを図るとともに、撮影時間の短縮により患者さんからもご好評をいただいています。P E T - C T 検査では、院内のサイクロトロンで 18 F - F D G を製剤しており、体重ごとに投与量の管理を行っています。また、製剤のデリバリーに比べ、輸送経路の天候等による影響を受けずに安定した検査を行うことができます。

診断 C T 装置は 256 列 1 台、64 列 2 台が稼働しており、うち 2 台はデュアルエネルギー C T により、がん診療において有用な多種多様な画像を提供しています。

M R I 装置は 1.5 T が 2 台で悪性疾患に対する様々な撮影依頼に対応しています。造影検査の割合が M R I で約 80%、C T



で約 70%と高くなっているのも当院の特徴と言えます。

今年度は最新の I V R（画像下治療）－ C T 装置への更新が予定されており、更なる高精度 I V R への利用が期待されます。

【治療部門】

当院では 4 台（リニアック 3 台、R A L S 1 台）の放射線治療装置により I M R T（強度変調照射）、V M A T（回転原体強度変調照射）など高精度で低侵襲な治療を行っています。肺癌巣への定位放射線治療はもとより、2021 年 3 月にはアキュレイ社製トモセラピー（ラディザクト）を導入し、I M R T を中心に幅広い疾患の治療を目指しています。また、R A L S を用いた腔内照射では、子宮頸癌に対する組織内照射併用治療を行っています。その他、アイソトープによる内用療法も行っています。



中央放射線部では、今後も安全で正確な検査・治療を心がけ、がん診療に有用な画像と精度の高い放射線治療の提供を行ってまいります。よろしくお願いいたします。

診療放射線技師長 若井 聡



～患者サポートセンターからのお知らせ～

就労・両立支援について

患者サポートセンターでは、社会福祉士や看護師の両立支援コーディネーターによる治療と仕事の両立について相談を行っております。

病気の診断を受けた時には「このまま仕事が続けられるのだろうか」「職場にはどのように病気のことが伝えたら良いのか」など様々な心配事や不安なお気持ちから、仕事を辞められる患者さんがいらっしゃいます。しかし、当センターでは、担当相談員がそのような悩みをお持ちのがん患者さんに対して、働きながら治療が受けられるようにお話を伺い、問題を解決するためのお手伝いを行います。

また、スムーズな就職・復職支援に向けて、平成 28 年度からハローワーク新潟と、平成 29 年度から新潟産業保健総合支援センターと協定を結び、就職支援ナビゲーターや両立支援促進員による就労・両立支援の出張相談を実施しております。

今回は、当院と協働して支援を行っているハローワーク新潟と新潟産業保健総合支援センターによる就労・両立支援の出張相談についてご紹介させていただきます。



ハローワーク新潟		新潟産業保健総合支援センター	
出張相談の対象になる方	がんセンターで治療しており、治療や通院しながら働ける仕事を探したい方。転職を希望している方。	がんセンターで治療しており、就労している方で、治療や通院しながら現在の仕事を続けたい、復職したい方。	
相談内容	専門の就職支援担当者「就職支援ナビゲーター」が、患者さんの能力や適性、病状、治療状況などを考慮し、希望にあった仕事を紹介します。また、希望の事業所に対して、求人条件の緩和などの交渉や調整を行います。	社会保険労務士などの資格を持つ「両立支援促進員」が、今までの業務や雇用契約の内容を確認しながら、病状、治療状況などを考慮し、業務上の配慮や調整が必要な内容について患者さんと一緒に考え、事業所と復職に向けて話し合う際のアドバイスや必要に応じてその話し合いに同席を行います。	
相談日	毎週木曜日 10 時～13 時（予約制）	日程調整の上、随時実施。	
開催場所	がんセンター新潟病院 患者サポートセンター		

当センターの両立支援コーディネーターは、初回の出張相談時に同席し、患者さんと院外関係機関との連絡・調整を行う他、必要に応じて院内スタッフと連携を取りながら対応いたします。

在宅医療研修会 2期開催のお知らせ

昨年度に引き続き「在宅医療研修会」をオンライン会議システム Zoom を利用し開催しています。今年度は訪問看護事業所に加え、居宅介護支援事業所と地域包括支援センターに従事される方にも対象を広げております。

1期は6月に「在宅で知っておきたい感染症対策」、7月に「がん患者の在宅療養におけるリンパ浮腫ケア」というテーマで研修会を開催し、30ヶ所以上の事業所から、40～50名ほどの方に参加いただきました。

1期研修会後のアンケートでは、「感染症について聞くことができて良かった」、「今後の支援の参考になった」というお声をいただきました。一方で、参加者の方々の期待に沿うことができない部分もあり、30分の講義で伝えることには限界があることも痛感しています。今後は可能な限りテーマを絞った形で研修会を開催していきたいと考えています。

この研修を機会に更に知識を深めたいという場合には、今年度から「専門・認定看護師出前講座」も受付をしていますので、こちらの方も是非ご利用ください。9領域39項目のプログラムから選択が可能で、30～60分のオンライン講義となります。詳細は当院のホームページを参考にしてください。

在宅医療研修会2期は、下表の通り12～2月に3つのテーマで開催を予定しています。11月に当院のホームページにお申し込みの案内を掲示しますのでご覧ください。多数の方の参加をお待ちしております。



研修日	テーマ	講師
12/10 (金) 17:30-18:10	がん療養支援に関する看護倫理	がん看護専門看護師 豊嶋 由紀子
1/14 (金) 17:30-18:10	がん患者の在宅療養における疼痛ケア 「症状マネジメント」 「痛みの治療薬の種類や効果・副作用」	がん性疼痛看護認定看護師 長谷川 亜希
2/18 (金) 17:30-18:30	がん患者の在宅療養における家族ケア ＊ディスカッションあり	緩和ケア認定看護師 大竹 美幸

看護サマリーのアンケートについて

看護部から地域へお渡ししている看護サマリーについて、“地域医療者が在宅支援できる視点で情報提供できているか”を評価していただくために、アンケート用紙を同封しております。率直なご意見をお聞かせください。

お手数ではありますが、記入後は患者サポートセンターまでFAXでの送信をお願いいたします。

がんセンター新潟病院 患者サポートセンター 月～金（休日は除く）8時30分～17時
電話 025-266-5161（直通） FAX 025-266-5162



新潟県立がんセンター新潟病院 令和3年11月外来診療予定表

		月	火	水	木	金
内 科 (金曜の循環器 は新潟大学か ら)	401診	栗原 太郎(血液)	小方 則夫(消化器)	廣瀬 貴之(血液)	栗原 太郎(血液)	小山 建一(呼吸器)
	402診	大倉 裕二(循環器)	今井 洋介(血液)	大倉 裕二(循環器)	石黒 卓朗(血液)	今井 洋介(血液)
	501診		谷 長行(糖尿病)	谷 長行(糖尿病)		谷 長行(糖尿病)
	502診	今井 匠卓(消化器)	大山 泰郎(内分泌)	小方 則夫 AMT(消化器)	大山 泰郎(内分泌)	三浦 理(呼吸器)
	601診	田中 洋史(呼吸器)	丹羽 佑輔(消化器)	三浦 理(呼吸器)	高橋 祥史(消化器)	田中 洋史(呼吸器)
	602診	塩路 和彦(消化器)		小林 正明(消化器)	塩路 和彦(消化器)	(AM)佐藤 聡磨(循環器) (PM)尾崎 和幸(循環器)
	201診	(呼吸器内科医師)		梶原 大季(呼吸器)	北條 雄暉(消化器)	馬場 順子(呼吸器)
	内科新患予定表は下段を参照してください。					
小児科	1 診	小川 淳	渡辺 輝浩	阿部 咲子	小川 淳	渡辺 輝浩
	2 診		第3週専門外来(14:00~)	笠原 靖史	長期フォローアップ外来	阿部 咲子
*新患は紹介状が必要です。						
乳腺外科 消化器外科	1 診	神林 智寿子(乳腺)	藪崎 裕(胃)	野村 達也(肝胆膵)	瀧井 康公(大腸)	中川 悟(食道・胃)
	2 診	金子 耕司(乳腺)	松木 淳(胃)	瀧井(予約のみ)	丸山 聡(大腸)	番場 竹生(食道・胃)
	3 診	五十嵐麻由子(乳腺)	會澤 雅樹(胃)	神林 智寿子(乳腺)	野上 仁(大腸)	
	4 診	小幡 泰生(乳腺)	長橋 宏規(胃)	高野 可赴(肝胆膵)	小柳英人/田中花菜(大腸)	臼井 賢司(食道・胃)
	予防センター-乳腺		金子 耕司	五十嵐麻由子	神林 智寿子	神林 智寿子
がんゲノム外来 (毎週金曜午後)						中川 悟(PM)
*乳腺外科は予約制です。※がんゲノム外来は完全紹介制です						
呼吸器 外科	1 診	予約のみ	青木 正	予約のみ	予約のみ	青木正 (AM10時~)
	2 診		岡田 英			岡田 英
骨軟部腫瘍 整形外科	1 診	第2,4週 皇野 宏史	山岸 哲郎(AM)		山岸 哲郎	柳橋 和仁
	2 診	柳橋 和仁			皇野 宏史	1,3,5週 皇野/2,4週 山岸
*完全紹介制です。						
脳神経内科 (新潟大学より)		二宮 格		石黒 敬信		
精神科 (午前のみ)			小林 真理		小林 真理	小林 真理
*当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。						
腫瘍内科 (毎週木曜午後のみ)					森山雅人(PM)	
*当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。						
脳神経外科	1 診	高橋 英明		五十川 瑞穂	高橋 英明	五十川 瑞穂
	2 診	五十川 瑞穂		高橋 英明	五十川 瑞穂	高橋 英明
婦人科	1 診	田村 亮	菊池 朗(AM)	菊池 朗	田村 亮	山口 雅幸
	2 診	木谷 洋平	山口 雅幸	田村 亮	山口 雅幸(AM)	木谷 洋平
	3 診	予約のみ	笹川 基 (AM)	遺伝性乳がん卵巣がん外来 (大学・西野)	菊池 朗(予約のみ)	予約のみ
*完全紹介制です。						
皮膚科	1 診(主に新患)	高塚 純子	島田 奏	竹之内 辰也	要藤 歩美	要藤(1,3,5週)/島田(2,4週)
	2 診(主に再来)	要藤 歩美	竹之内 辰也	高塚 純子	高塚 純子	竹之内 辰也
	3 診	島田 奏	要藤 歩美	要藤 歩美	島田 奏	島田(1,3,5週)/要藤(2,4週)
泌尿器科	1 診	谷川 俊貴	渡邊 和博	斎藤 俊弘	斎藤 俊弘	谷川 俊貴
	2 診	小林 和博	結城 恵里	小林 和博	結城 恵里	渡邊 和博
*新患は紹介状が必要です。						
眼科	1 診	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭	
	2 診			佐藤 敬子(AM)	佐藤 敬子(AM)	佐藤 敬子(AM)
頭頸部外科	1 診	太田 久幸(再診)	富樫 孝文(新患)	予約のみ	川浪 孝介(新患)	川浪 孝介(新患・再診)
	2 診	田中 亮子(新患)	田中 亮子(再診)		富樫 孝文(再診)	第2,4予約のみ
	3 診	予約のみ	予約のみ		田中 亮子(再診)	
*新患は紹介状が必要です。						
放射線 治療科	1 診	鮎川 文夫	鮎川 文夫	鮎川 文夫	鮎川 文夫	鮎川 文夫
	2 診	松本 康男	松本 康男	松本 康男	松本 康男	松本 康男
	3 診	吉村 奈津美/金本 彩恵	吉村 奈津美/金本 彩恵	金本 彩恵	金本 彩恵	杉田 公/金本 彩恵
*木曜日・金曜日は新患の対応ができない場合があります。						
麻酔科	1 診(ベインクリニック)	富田 美佐緒/高松 美砂子	富田 美佐緒/高松 美砂子	富田 美佐緒	高松(1,3,5週)/富田(2,4週)	富田/高松(1,3,5週)
	2 診(漢方外来)	渋谷 智栄子		渋谷 智栄子	渋谷 智栄子	渋谷 智栄子(2,4週)
	術前		阿部 崇			
予約制です。						
形 成 外 科		2,4週 13~14時(再来)		坂村 律生	坂村 律生	
緩和ケア科	AM/PM	本間 英之	中島 真人	本間 英之/中島 真人	生駒 美穂	生駒 美穂/中島 真人
	*当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。 *原則新患1日2名になります。新患依頼は外来へお問い合わせください。					
歯科口腔外科 (日本歯科大学より)		AM/PM	AM/PM	AM/PM	AM/PM	AM/PM
*当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。						
令和3年11月内科新患予定表						
新 患 (医師2名 隔週交替)	月曜	11/1 小林(消化器)	11/2 小山(呼吸器) 石黒(血液)		11/4 丹羽(消化器) 馬場(呼吸器)	11/5 塩路(消化器)
	火曜	11/8 三浦(呼吸器)	11/9 高橋(消化器) 栗原(血液)	11/10 田中(呼吸器) 今井(血液)	11/11 廣瀬(血液) 大倉(循環器)	11/12 梶原(呼吸器)
	水曜	11/15 小林(消化器)	11/16 石黒(血液) 小山(呼吸器)	11/17 今井(経) (消化器) 大山(内分泌)	11/18 馬場(呼吸器) 丹羽(消化器)	11/19 梶原(呼吸器)
	木曜	11/22 三浦(呼吸器)		11/24 今井(血液) 田中(呼吸器)	11/25 大倉(循環器) 廣瀬(血液)	11/26 塩路(消化器)
	金曜	11/29 小林(消化器)	11/30 栗原(血液) 高橋(消化器)	12/1 大山(内分泌) 今井(経)(消化器)	12/2 丹羽(消化器) 馬場(呼吸器)	12/3 梶原(呼吸器)
	※ 変更となる場合がありますので、事前にご確認ください。(電話:025-234-0011)					

新潟県立がんセンター新潟病院 患者サポートセンター(地域連携部門)

TEL:025-234-0011 FAX:025-234-0022 受付時間 月~金 8:30~18:30

がんセンター新潟病院 URL: <http://www.niigata-cc.jp>

時間外のFAXについては、平日夜は翌朝、金曜夜から日曜は月曜の朝にお返事申し上げます